

保護者対象進路学習会

就業・施設体験について

令和7年7月9日（水）
9：30～10：15

就業・施設体験とは

卒業後の生活を見据え、福祉サービス事業所や一般企業等での
はたらく生活を
体験するもの。

自宅から通勤し、
最大で4週間、
体験先に通います。

- ・ 卒業後の進路先を検討するための体験
- ・ 授業の一環
- ・ 事業所の送迎や、グループホームの体験利用をすることもある
- ・ 事業所様のご厚意によって体験させてもらっている。

卒業生の進路状況（令和6年度：23名）

進路先		人数（のべ）	分類など
企業就職		4	一般企業
福祉サービス 事業所	働くこと中心 （「訓練」）	4	就労継続支援A型
		1 1	就労継続支援B型
	生活中心 （「介護」）	3	生活介護
進学等		1	
その他		0	

令和7年度 就業・施設体験の期間

中学部 3 年			高等部 1 年			高等部 2 年			高等部 3 年		
1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
	10 ～ 11 月 (2 週間)			11 月 校内実習 (2 週間)		6 ～ 7 月 (2 週間)	11 月 (4 週間)		6 ～ 7 月 (2 週間)	11 月 (4 週間)	

※この期間に数日間

高2生6月の体験は、
アクティブコースのみ

生徒にとって

- ・働く喜びを味わう。
- ・職業生活のスキルを習得する。
- ・職業適性の理解。



実習先にとって

- ・生徒個人の様子や
いろいろな障害特性への理解。
- ・障害者雇用に向けた業務の工夫。



サービスの利用や
就職につながる

令和7年度 就業・施設体験の期間

中学部3年生：10月28日（火）～11月14日（金）の中から数日

高等部1年生：11月17日（月）～11月28日（金）

高等部2年生：11月 4日（火）～11月28日（金）

※アクティブコースは6月23日（月）～7月4日（金）も

高等部3年生： 6月23日（月）～ 7月 4日（金）
11月 4日（火）～11月28日（金）

高等部Ⅰ課程：夏休みに1週間～2週間の体験（希望者）

高等部Ⅲ課程：6月23日（月）～ 7月 4日（金）のうち数日（高3のみ）
9月16日（火）～11月28日（金）のうち数日

生徒にとって

- ・働く喜びを味わう。
- ・職業生活のスキルを習得する。
- ・職業適性の理解。



実習先にとって

- ・生徒個人の様子や
いろいろな障害特性への理解。
- ・障害者雇用に向けた業務の工夫。



サービスの利用や
就職につながる

進路決定へ向けて

高等部 3 年生：卒業後の利用を見据えた体験。

進路先を明確にする
進路先の決定

高等部 2 年生：自分の力が体験先でどう評価されるか。

進路先を具体的に考える
自分に合った職場の検討

高等部 1 年生：学校生活でできたことが、体験先でもできるか。

卒業後の生活をイメージする

中学部 3 年生：違う環境（作業、支援者・利用者、雰囲気）で過ごせるか。

事業所・施設を見学する、数日体験する

「卒業後、どうしたい？」

支援を受けながら
働く生活をしたい

休憩、余暇などを取り
入れて、自分に合った
ペースで生活したい

医療面の支援を受けて
暮らしたい

働く力をしっかり
身につけたい



一般企業に就職して
一人暮らしをしたい

**本人、保護者の
希望がスタート**

就労系福祉サービス

就労移行支援

一般企業等への就職を希望する人に向けて、原則 **2年間**、事業所内や企業での作業や実習を通して、就職に必要な訓練を行います。
(作業に対し「**工賃**」の支給義務はなし)

就労継続支援A型

雇用契約を結び、仕事をする上での訓練、支援を受けて働きます。
※就業は4～7時間。最低賃金保障

就労継続支援B型

事業所内で働く場を提供するとともに、働くための知識や能力の向上をめざして訓練を行います。
(作業に対し「**工賃**」の支給)

近郊の就労支援事業所

サービス事業	施設名	定員	所在地
就労継続支援A型	あおば	20	和多田
	サカセル唐津事業所	20	鏡
	つなぐ唐津	15	西唐津
	すばる	10	浜玉
	虹のかがやき	20	浜玉
	One	20	浜崎
	モルチェ・サポート	15	山本
就労移行支援	ステップ将	6	浜崎
	パンちゃん	6	多久

近郊の就労支援事業所

サービス事業	施設名	定員	所在地
就労継続支援B型 ※利用前に 「アセスメント」 が必要	太陽社	39	久里
	ビーハウス	20	湊
	つくっちゃおう	20	東山
	就労支援事業所 ohana	14	浜崎
	就労支援事業所 ohana 2nd	20	浜崎
	からつ福祉作業所	20	栄町
	唐津ひかり工房	20	養母田
	いろえんぴつ	20	鏡（原）
	ぱれっと	40	鏡（原）
	ユニバーサル ソラシド ジャパン	30	北波多
	イエローキッチン	20	伊岐佐
	ここから	20	新興町

近郊の就労支援事業所

サービス事業	施設名	定員	所在地
就労継続支援B型 ※利用前に 「アセスメント」 「就労選択支援」 が必要	愛の木 就労継続支援事業所	20	宇木
	福祉作業所 彩	14	浜崎
	福祉作業所ピノキオ	20	菜畑
	アイリス	20	町田
	ほいっぽ	20	海岸通
	椿作業所 玄海分場	10	玄海町
	くるみランドリー	10	相知
	つなぐ唐津	10	刀町
	就労継続支援事業所 大翔	20	大石町
	すまいる	20	鷹島
	ペリドット	20	山本
	be.happy	20	新興町

「就労アセスメント」とは

※R7年10月以降就労選択支援

就労訓練の福祉サービス事業所を利用するにあたり、
「就労移行支援事業所」にて就労面に関する情報把握を
行い、本人に適したサービスを検討するために行う一定期間の
体験のこと。

唐津市・玄海町ではこんな方が**高等部2年生**で実施します

就労継続支援**B型**を検討、
または**B型**事業所の利用を
希望する方

「就労アセスメントの希望者」

本人に合った**進路検討**のために受けたい
＝「適切な働く場」：一般就労、A型、B型など
を**選択**するための支援に生かしたい。

近郊の介護事業所

生活介護

・食事や入浴、排せつ等の介護や日常生活上の支援を行い、軽作業や生活活動や創作活動の機会も提供し、身体能力、日常生活能力の維持、向上を目指すサービス。

施設名	定員	所在地
通所生活事業所すまいる	40	佐志
久里双水園（入所52）	20	久里
OZデイからつ（肢体不自由の方）	5	浜崎
おうち太陽社	20	相知
国際協力支援センター愛のかけはし	8	多久市多久町
ほのぼの横町	40	多久市北多久町
二丈しおさいの丘	20	糸島市二丈深江
瑠璃光苑	8	伊万里市二里町
椿作業所	20	伊万里市黒川町
ワークショップ道の家	14	武雄市武雄町

県内の入所施設はほぼ
空きがない状態
（待機申請者が30人
以上の施設も）

1週間に複数の
施設を利用しな
がら過ごす方が
増加

学校でやっていくこと

「今」の子どもさんを、保護者の方と確実に共有・共通理解すること

- どんなことが身に付いているか（準備の面）
（集団参加、流れに沿った活動、周囲との関わり など）
- どんな活動が合っているか（適性の面）
（ゆっくり過ごす、室内作業、屋外で体を使う作業 など）
- 環境の変化にどの程度なら無理がないか（環境の面）
（想像以上に子どもは緊張。1日終日作業の経験も少ない。）

家庭でやっていくこと

卒業後のイメージを持つこと

- 一般企業に就職
- 支援を受けながら働くことが中心の生活
- 生活面の支援（日中、住まい）を受けて過ごす

福祉サービス事業所の見学

まず地元から
→福祉サービス事業所説明会
(7/23)

保護者さんの都合に応じて、
見学の日程調整も可能

多久市、糸島市にも通所可能な
事業所があります。

就業・施設体験への流れ

- ・ 5 月 個人面談にて、将来の希望聞き取り
 担任と体験先の検討
- ・ 1 学期 体験先の見学、選定
 ～夏休み 体験先決定に係る施設見学の調整
- ・ 9 月上旬 体験先（実施日数）の決定
- ・ 10月 事業所との打ち合わせ（本人、保護者、担任）
- ・ 11月 就業・施設体験 ※学部毎に「報告会」

→今年度内に体験の振り返りと、来年度の「ねらい」や体験先の選定

福祉サービス事業所説明会について

- ・ 7月23日(水) 9：25から本校で行います。

就労継続支援A型事業所

就労継続支援B型事業所

生活介護 事業所 等

たくさんの事業所の方が事業所の紹介に来られます。

保護者の方々のご参加をお待ちしています。

ご協力いただくこと

- ・ 保険への加入
- ・ 必要書類の提出
- ・ 事前打ち合わせ・反省会への参加（体験先にて）
- ・ （体験先によっては）体験先への送迎
- ・ 「体験ノート」の記入
- ・ 昼食の準備や、昼食代の実費負担など

ご質問などありましたら
お気軽にどうぞ。